

令和3年度 第2回愛媛県がん診療連携協議会 がん地域連携専門部会 Web 会議 議事録

日時 令和3年11月10日（水）14：30～15：25

場所 四国がんセンター 応接室

出席病院：13病院 愛媛県薬剤師会

愛媛大学医学部附属病院・愛媛県立中央病院・済生会松山病院・松山赤十字病院 松山市民病院・済生会今治病院・済生会西条病院・住友別子病院・HITO病院・四国中央病院・市立八幡浜総合病院・市立宇和島病院・四国がんセンター

欠席病院：2病院 十全総合病院・愛媛労災病院

司会進行：四国がんセンター 橋根勝義

書記：四国がんセンター 村上直子

別紙資料：がん地域連携部会 web 会議資料

I. 緩和ケアに関する内容

1. 緩和病棟あるいはそれに代わる病棟（病室）について
2. 緩和病棟を閉鎖あるいはコロナ病床へ転用したか
3. 転用はどのような時期（タイミング）だったか
4. 転用した場合に情報は公表したか
5. 公表した場合はその方法、公表しなかった場合はどのような対応を行ったか
6. 終末期患者の面会制限
7. 看取りの場面での制限
8. 自院の対策を振り返り評価は行ったか

II. 情報

1. 面会禁止など感染対策の情報はどのように発信したか（患者・医療機関への対応）
2. 発信した情報は伝わったと思われるか
3. 情報発信に対する意見について

III. リモートカンファレンスの今後の活用予定

IV. ネットワーク連携の新たな取り組みや状況

V. 医科歯科連携の取り組み

議事内容

配布していた別紙資料に基づいて各医療機関と意見交換を行った。

I. 緩和ケア病棟について4施設から状況を確認した。

済生会今治病院

一般病棟から一番離れた別棟にありコロナ病床に転用しやすかった。スタッフは希望者を募って対応した。転用当初は混乱したが、患者数が多くなかったため混乱は一時的であった。緩和の患者は一般病棟で対応し、トラブルはなかった。転用後の問い合わせも一時的であった。来週から緩和ケア病棟を再開する。

HITO病院

緩和ケア病棟の病床数が少なくコロナ病床に転用しやすかった。スタッフは希望者を募って対応

した。患者は一般病棟に移動してもらい緩和病棟のスタッフも一般病棟にも移動している。転用後の問い合わせは一時的に煩雑になっていた。緩和ケア病棟でなくケア病棟への問い合わせもあった。

住友別子病院

10月から緩和ケア病棟を開設した。開設直後は満床であったが現在は少し空床がある。コロナ病床に転用はしていない。

四国がんセンター

コロナ病床の転用はなく緩和病床として維持できていた。第6波の感染が第5波以上になれば転用も考えなければいけないと考える。

II. 面会状況の現状・情報

1. 面会の現状

愛媛大学病院：面会禁止から制限に変わった。

愛媛県立中央病院：面会禁止

済生会松山病院：1～2回/週 14時～16時 荷物の受け渡しは可能

松山市民病院：月・水・金 14時～16時 家族限定で面会可能

松山赤十字病院：面会禁止 荷物の受け渡し等で可能な部分はある。

四国がんセンター：面会禁止 緩和の看取りは家族限定で4名までとしている。

済生会今治病院：面会禁止 主治医の許可で15分程度の面会許可が下りる場合もある。

HITO病院：先週から一患者に対し2人15分まで 平日の14時～16時 大部屋は一組のみ面会可能になった。

住友別子病院：一般病棟は、面会禁止 荷物の受け渡しで2～3回/週 15分程度
緩和病棟は、家族限定で2～3名まで交代で病室に入る。

感染拡大地域からの方はzoomでの面会

済生会西条病院：面会禁止 主治医の判断で一部許可になる。

市立八幡浜総合病院：面会禁止

市立宇和島病院：11/1から一部面会制限に変更 市内在住者は、2名まで1回15分 南予以外の方は問診票で確認している。

四国中央病院：面会禁止 主治医の判断で一部許可になる。

※面会については、面会制限になった施設もあるが、どの施設も全面解除には至っていない。制限を緩めるにあたっては、コロナ会議等で決定されている。

2. 情報の周知

- ・各施設、ホームページやポスター掲示で情報提供を行っている。愛媛県立中央病院は、面会禁止の記事が愛媛新聞に2回掲載されたが、効果があったかどうかの実感はない。情報の周知は難しいが、部会を通じての情報提供も願う。
- ・愛媛大学病院から自施設のホームページに協議会の連携パス関連のページにリンクを貼りたいと連絡をもらった。自施設のホームページにリンクは自由に張って貰ってよい。また、協

議会のホームページを利用し、県民へのアピールとして行きたい。コロナの情報も掲示し、協議会のホームページも改定していきたいので、協力をお願いします。

Ⅲ. リモートカンファレンス

1. リモートカンファレンスの実施がなかった施設の状況

市立宇和島病院

在宅関係者に院内に来てもらい広い会議場でカンファレンスを実施した。ケアマネジャーも当院に来ることに抵抗はなかったようである。当院のリモートカンファレンスを行う環境自体は整っている。

済生会松山病院

1階で場所を確保し対面でカンファレンスは実施している。

松山市民病院

1階で場所を確保し対面でカンファレンスは実施したが、患者は病室からオンライン端末で参加した。

緩和目的で岡山へ帰る患者をリモートカンファレンスする予定になっている。

2. リモートカンファレンスが多い施設の状況

愛媛大学病院

退院前カンファレンスの情報提供に1~2件/月実施 会議を行うため場所の確保やWi-Fi環境が使用できる場所の確保に苦勞することはあるが、会議が開けなかったことはない。

愛媛県立中央病院

リモートカンファレンスは行えていない。必要な場合は、各部署で場所を確保し来院いただき実施している。

四国がんセンター

件数は多くないが、遠方地域の患者が多いため今後も活用して行きたい。課題は、ネット環境が悪い点である。

Ⅳ. ネットワーク連携の新たな取り組みや状況

県立中央病院

11/1/から【媛さくらネット】を開始したが、登録までには至っていない。病名・検査データ画像・処方内容などが見ることができ、専任の担当者がいる。

市立宇和島病院

見せ方が大事である。Drがどういった説明を行っているのかを一番知りたいため、Drの記載が見られるようになるのがよい。見られているということでDrの記載も変わってくる。また、専任の担当者が出向いて設定や不具合の対応に応じられるとよいと思う。カルテ記録内容も含め開示していくことで普及は格段にすすむものと思われる。

愛媛大学病院

ネットワーク同意患者は、約1000人で今後も増えていく。

事務局から、既に各施設間のネットワークも繋がって良い時代だと思う。協議会を通じて働きかけが必要

V. 医科歯科連携の取り組み

四国がんセンター新任の歯科医師から緩和の患者だけでなく、抗がん剤や顎骨壊死の患者についても医科歯科連携の強化を行いたい意向があるため、今後も協力をお願いする。まだ準備が不十分であるが、進行があれば連絡する。

VI. その他の取り組みについて

愛媛大学病院：ヒューマンブリッジ機能による SNS を活用している。薬薬連携では副作用モニター、WOC 認定看護師のケアにはストーマ写真を SNS で見られるようにして活用している。

年度末までに紹介患者については、WEB 予約システムを稼働させる予定である。

愛媛県立中央病院：外来待合室の密を避けるために、【LINE による呼び出し通知サービスを導入】LINE にお友達登録をすれば、診察・会計呼び出し状況が LINE に届くようになった。

済生会松山病院：面会など、情報が変更になった時に伝わりにくいため、スムーズな情報伝達に取り組んでいきたい。

松山市民病院：ネットワーク連携が広がり開業医さんと連携の輪が広がっていけばよいと思う。

松山赤十字病院：乳癌ホルモン治療連携パスについて、5 年から 10 年に対応できるように改定し、運用を始めている。

済生会今治病院：コロナで培った WEB での病診連携を広げていきたい。

HITO 病院：オンライン診療の患者を増やしていきたい。現在、オンライン診療をしていた患者は、来院している。

住友別子病院：10 月から開設した緩和ケア病棟の稼働をしっかりとやっていく。11 月緩和研修会を予定している。

済生会西条病院：緩和病床はないが、緩和ケア外来で対応している。

市立八幡浜病院：連携ネットワークシステムが始められる。在宅や訪問看護に上げられると良いと思っている。連携ネットワークは、どこか音頭を取って一気に横に繋げて双方向にできるとよいと思う。

市立宇和島病院：東・南宇和などの連携を発展させたい。

四国中央病院：面会制限を緩めるのは難しいが、アンケートを参考に患者面会も考えていきたい。

愛媛県薬剤師会（コスモ薬局）：県医師会の薬薬連携で副作用報告、レジメンや検査データも見られるが、細かな点も連携ネットワークで閲覧できるとよいと思う。

まとめ

コロナで影響を受けて大変な時期を共有しましたが、情報の伝達、SNS、LINE など新しいツールを手に入れている。ネットワークシステムが普及するともっと楽になるため連携部会として積極的に取り入れていきたい。医科歯科連携、薬薬連携やパスの改定も引き続き、協力をお願いする。

次回開催予定：未定